

介護を必要とする方のための
歯科診療の手引き

仙台市

| | |
|---|----|
| はじめに | 1 |
| 1. 歯科医療と健康 | 2 |
| (1) 口の役割 | 2 |
| (2) 食べる・話すためには | 3 |
| (3) 歯科治療・口腔のケアの効果 | 3 |
| 2. 要介護者の歯科医療の必要性 | 4 |
| 3. 要介護者の口の特徴 | 4 |
| 4. 歯科医療と介護の連携 | 5 |
| 5. 歯科訪問診療へのつなぎ方 | 5 |
| (1) 歯科診療へつなぐ必要性に気づく | 5 |
| (2) 歯科訪問診療の対象者かどうかの確認 | 6 |
| (3) 歯科訪問診療へつなぐ方法 | 7 |
| 6. 歯科訪問診療についての疑問 | 8 |
| (1) 診療内容 | 8 |
| ① 歯科訪問診療は、どんなことをするの？ | |
| ② 口腔のケアだけの依頼もできるの？ | |
| ③ 歯科訪問診療の回数は？ | |
| ④ 寝たきりでも治療はできるの？ | |
| (2) 歯科医院への問い合わせ | 9 |
| ① 歯科医院にいつ電話すればいいの？ 診療中の電話は気が引けるのですが… | |
| ② 問い合わせたら「病気があるので診られない」「レントゲンが撮れないので診られない」と断られました | |
| (3) 料金 | 10 |
| ① 料金の目安が知りたいのですが？ | |
| (4) 本人や家族が歯科訪問診療を希望しない | 11 |
| ① 経済的な理由で断られます | |
| ② 歯の痛みがないと歯科にかかろうとしてくれません | |
| (5) 認知症 | 11 |
| ① 認知症でも診てもらえるの？ | |
| ② 口を触らせてくれない人がいます。どうしたらいいですか？ | |
| ③ 入れ歯を作っても使えないかもしれないので作らなくてもいいですか？ | |
| (6) その他 | 12 |
| ① 摂食・嚥下障害にも対応してくれるの？ | |
| ② 身体的ケアのサービス量が多いので、口腔のケアは介護保険利用限度額に入りきらないのですが… | |
| ③ ケアプラン作成時にサービス提供票を歯科医院に提供しないといけないの？ | |

はじめに

現在、日本では「4人に1人が高齢者」という超高齢社会を迎えており、要介護高齢者は今後も増加することが予想されています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療と介護の連携が必要です。食べる機能が衰えると低栄養や誤嚥性肺炎のリスクが高まり、結果としてADLの低下にもつながることから、歯科医療においても「介護が必要な人とサービスをつなぐ」ケアマネジャーの役割が重要です。

厚生労働省の研究事業によると、要介護者の約9割が歯科受診の必要があったにもかかわらず、実際には3割弱しか受診していないという結果が示されています。仙台市においても、平成28年度に要介護者の歯科受診の状況についてケアマネジャーへのアンケート調査を行ったところ、歯科受診をしている要介護者が少ないという同様の現状が浮き彫りになりました。

そこで、在宅の要介護高齢者が歯科医療を受けやすくなるためのツールとして「口の大切さ」や「歯科医療の必要性の気づきのポイント」「歯科訪問診療紹介の方法」などを盛り込み“手引き”としてまとめました。

この“手引き”は、平成29年度に仙台市地域医療対策協議会歯科保健医療部会において立ち上げた（一社）仙台歯科医師会、（一社）宮城県歯科衛生士会、東北大学大学院歯学研究科、宮城県ケアマネジャー協会のメンバーから構成される「歯科訪問診療の手引き作成ワーキング」で内容を検討し、歯科保健医療部会で協議のうえ第1版を作成いたしました。その後、実際に使用したケアマネジャー等の意見をもとに修正を加え、令和元年9月に第2版として改訂しました。

さらに、ケアマネジャーだけでなく介護に携わる多くの方々が、要介護者の日頃の様子の変化やお口の症状に気づき歯科に相談できるよう第3版として改訂を行うとともに、介護の現場で手元に置いてご活用いただける“お口の健康 チェックポイント”を作成いたしました。

より多くの方々に、この“手引き”及び“チェックポイント”をご活用いただき、介護を必要とする方が少しでも快適に過ごせるよう、歯科との連携を深めていただければ幸いです。

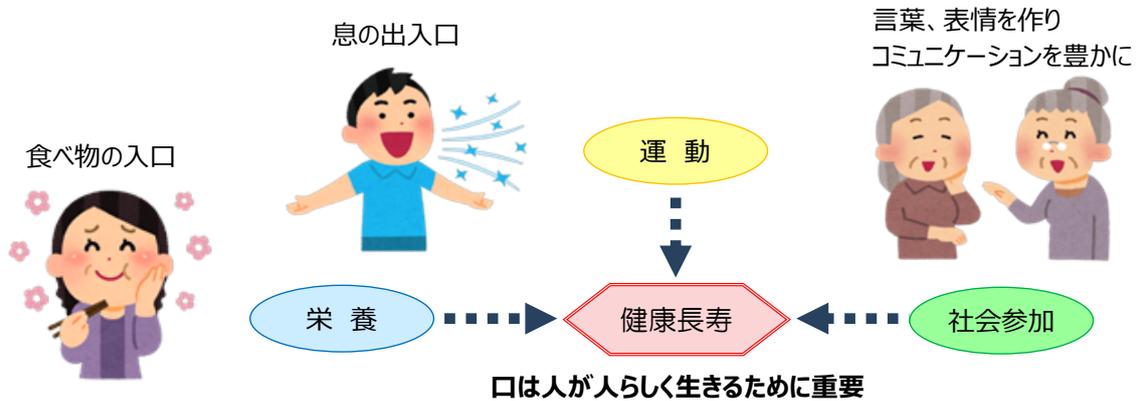
令和6年6月 仙台市



1. 歯科医療と健康

(1) 口の役割

食事をしたり、言葉や表情でコミュニケーションを図ることは、口の大切な役割です。口の働きの低下は、低栄養や誤嚥性肺炎の危険を高めるほか、社会参加にも悪影響を及ぼします。口の健康や機能の維持は、「健康長寿」の秘訣です。



【参考】

・誤嚥性肺炎

口の中に存在する多くの細菌が、唾液や食べ物とともに誤って気管に入って生じる肺炎です。寝たきりになったり、食べ物を飲み込む力が弱くなった人は誤嚥性肺炎のリスクが高くなります。

口腔のケアによって、口の中を清潔にしておくことは、誤嚥性肺炎を予防するために重要です。

・フレイル

加齢に伴い筋肉や心身の活力が低下し、環境の変化や病気に弱い状態のことです。高齢者の多くがフレイルの段階を経て、要介護状態になると考えられています。

生活の質（QOL）が低下するだけでなく、全身にさまざまな影響があるとされ、フレイルから元の健康な状態に戻るには、早期に気づき、対策を行うことが大切です。歯と口の健康を保って栄養バランスの良い食事をとること、体を動かすこと、積極的に社会参加をすることがフレイルの予防になります。

・オーラルフレイル

口の機能の健常な状態と口腔機能低下との間にある状態です。食べる機能が衰えて、食の偏りなどから低栄養等につながります。将来のフレイル、要介護認定、死亡のリスクが高いことがわかっています。

下記の5つのオーラルフレイルのチェック項目（Oral frailty 5-item Checklist：OF-5）のうち、2項目以上に該当する場合は、オーラルフレイルですので、歯科や医科を受診し、相談して下さい。

- ①自身の歯が0～19本
- ②半年前と比べて固いものが食べにくくなっている
- ③お茶や汁物等でむせることがある
- ④口の渇きが気になる
- ⑤普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがある

出典：オーラルフレイル 3学会合同ステートメント 日本老年医学会、日本老年歯科医学会、日本サルコペニア・フレイル学会

(2) 食べる・話すためには

口の健康や機能を維持するには、日々の歯みがきはもちろんのこと、歯科医師や歯科衛生士による口腔衛生・機能管理、むし歯や歯周病の治療、入れ歯の作製や管理が大切です。「食べにくくなった」「話しにくくなった」等の話を聞いたときは、早めに歯科医師に相談することをお勧めください。「まだ大丈夫」と後回しにせず、早めに歯科を受診することが、口の健康や機能維持・向上のための最善の対策です。



(3) 歯科治療・口腔のケアの効果

むし歯や歯周病の治療、入れ歯の作製や調整などの歯科治療により、良く噛んで食べられるようになります。よく噛めると、

- ①食べられる食事の種類や量が増え、栄養改善による体力の回復
- ②脳への刺激による認知症の予防
- ③胃腸の働きがよくなることによる便秘の改善
- ④唾液分泌量の増加による食べやすさや飲み込み機能の改善
- ⑤楽しく食事ができることによるQOLの向上

などにつながります。

また、歯科医師や歯科衛生士等から、口腔清掃やマッサージ、口の機能にあった食事の指導など口腔のケアを受けることで、

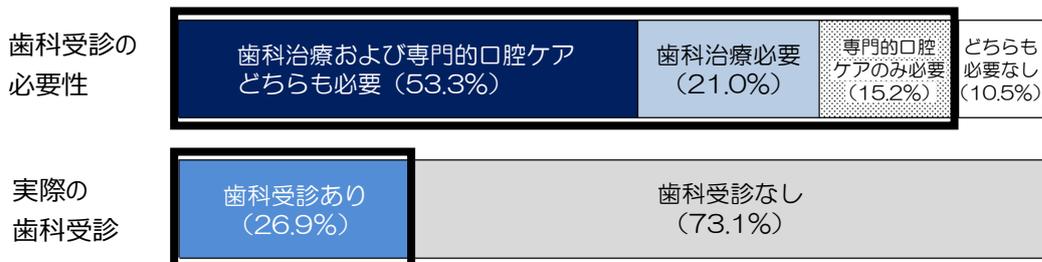
- ①むし歯・歯周病予防
- ②口の細菌量の減少や飲み込み機能の改善による誤嚥性肺炎のリスク軽減
- ③唾液分泌量の増加による、食べやすさ・飲み込み機能の改善や口臭の軽減
- ④口がすっきりし筋肉がほぐれることにより食べやすくなったり話しやすくなる
- ⑤味覚の改善による食欲増進

なども期待できます。

以上のように、歯科治療や口腔のケアにより、QOLの向上が期待できます。

2. 要介護者の歯科医療の必要性

厚生労働省の研究事業によると、**要介護者**（対象：368名、平均年齢81歳）の**約90%は歯科受診が必要**ですが、実際に**歯科受診をした方は約27%**であり、歯科治療が必要な疾病が見過ごされていることが示されています。日常会話などで歯や口の問題に気づいたら、それを見過ごさず積極的に歯科受診につなげていきましょう。



「情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究」

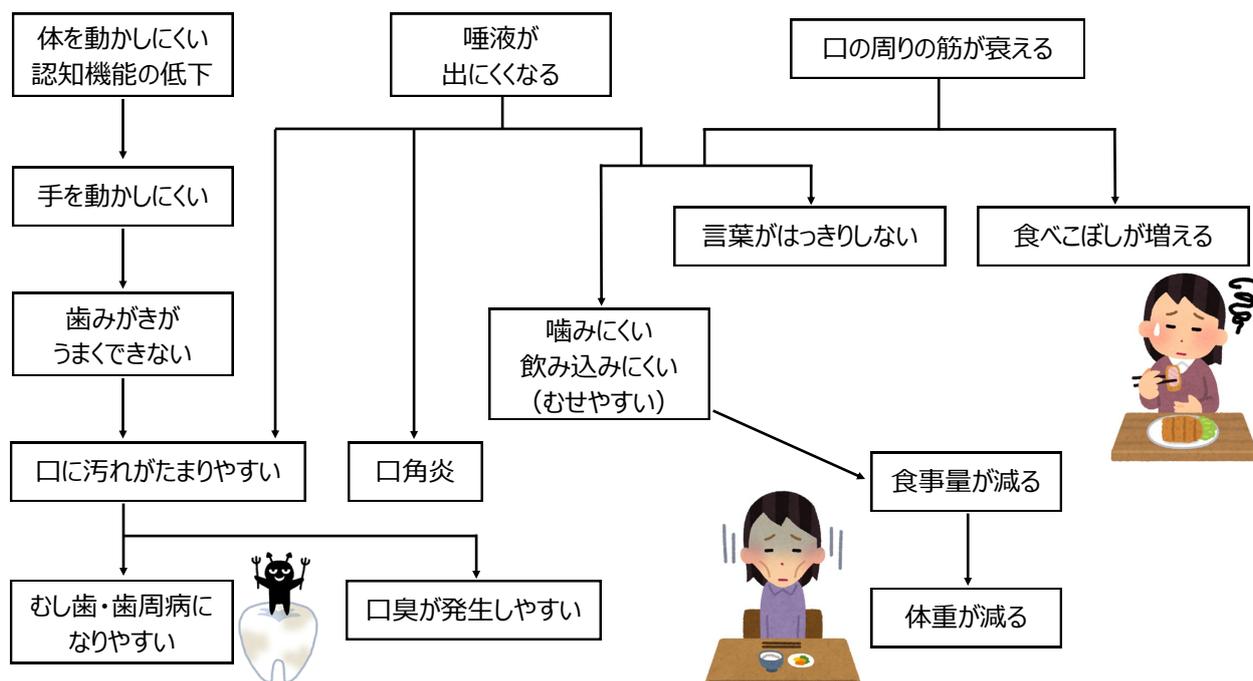
3. 要介護者の口の特徴

体の動きが不自由な要介護者や認知機能が低下した高齢者は、上手に歯みがきをすることが難しく、歯や口に汚れが残りがちです。汚れは、口のいやな臭いのほか、むし歯や歯周病の原因になります。

体の衰えは口の周りにも起こります。筋肉が衰えることにより言葉がはっきりしなくなったり、食べこぼしが増えたり、噛めないものや飲み込めないものが増え、食事の量が減ることによって体重も減り、さらに体が衰えます。

また、要介護者には唾液が出にくくなる人が多く見られます。唾液が減ると、口が渇いたり、乾いた食べものが食べにくいと感じるほか、歯や口の汚れが増えたり、入れ歯が合わないと感じたり、口角が炎症を起こして出血しやすくなります。

口の問題には、こうしたいくつかの「気づきのポイント」があるのです。



4. 歯科医療と介護の連携

要介護者は、歯科受診が遅れがちという現状があります。要介護認定を受けたら、歯や口の状態をチェックしてもらうために歯科を受診することをお勧めしてください。歯や口の疾病への対応が遅れると、抜歯などで口の環境が大きく変わります。口の機能が低下した高齢者は、新しい義歯に慣れるまでに時間がかかり、疾病は治っても口の機能は元通りには回復しません。

口の健康と機能を保つには、必要時にはすみやかに歯科を受診し、加えて定期的な歯科との関わり（歯科医師による診療や歯科衛生士による口腔のケア）が必要です。

口の問題に気づいたときに歯科医師に気軽に相談できるよう、**顔の見える関係**づくりに努めましょう。



5. 歯科訪問診療へのつなぎ方

**(1) 歯科診療へつなく
必要性に気づく**

**(2) 歯科訪問診療の
対象者かどうかの確認**

**(3) 歯科訪問診療へつなく
方法(歯科医院紹介)**

(1) 歯科診療へつなく必要性に気づく

普段の生活に表れるわずかな不調の裏側には、いくつもの口の問題が隠れているかもしれません。放置すると全身の健康にも影響します。次ページの「気づきのポイント」のうち、あてはまるものが一つでもある場合は歯科医師にご相談ください。



すぐに紹介が必要かもう少し様子を見てもいいのか迷う場合

口の問題の大きさと症状の重さは、必ずしも比例しません。「まだ大丈夫」と安易に判断するのは危険です。高齢者は口腔清掃が不十分であることが多いため口の状態が悪化しやすく、また一旦機能が低下すると回復が遅いものです。口の問題の「気づきのポイント」に心当たりがある場合は、迷わずかかりつけ歯科医または仙台歯科福祉プラザ（P7）に相談しましょう。

「気づきのポイント」と「考えられる原因」

会話をしながら気づくこと

| 気づきのポイント | 考えられる原因 |
|--------------------|------------------------------|
| 口臭が強くなっている | 口腔乾燥 口腔清掃不良 口腔周囲筋の機能低下 |
| 言葉がはっきりと話せず聞き取りにくい | 口腔乾燥 口腔周囲筋の機能低下 |
| 口角炎がある | |

食事の状況から気づくこと

| 気づきのポイント | 考えられる原因 |
|-----------------|--|
| 食事の量が減っている | 入れ歯の不適合 歯科疾患による痛み 摂食・嚥下障害 |
| 食べにくいものが増えている | |
| 飲みこみにくいものが増えている | |
| 食事の時間が長くなっている | |
| 入れ歯が使えなくなっている | 歯ぐきが痩せて合わない 入れ歯にひびが入っている 入れ歯のパネが欠けている 人工歯がすり減っている |



薬の服用状況から気づくこと



| 気づきのポイント | 考えられる原因 |
|-------------------------|-------------------------|
| 飲めない薬がある | 口腔周囲筋の機能低下 (摂食・嚥下障害) |
| 粉薬が口の中に残っている | |
| 薬を飲むときにのどに引っかかるような感じがする | |

その他

| 気づきのポイント | 考えられる原因 |
|--------------|-----------------------------------|
| 1年以内に肺炎にかかった | 口腔清掃不良 口腔周囲筋の機能低下 (摂食・嚥下障害) |



(2) 歯科訪問診療の対象者かどうかの確認

対象：通院困難な方（寝たきり・認知症などで通院困難、障害があつて歩行困難な方など）

対象かどうかの判断が難しい場合は、かかりつけ歯科医または仙台歯科福祉プラザ（P7）に相談しましょう。

(3) 歯科訪問診療へつなぐ方法

歯科医療が必要かもしれないと気づいたら、要介護者ご本人やご家族に口の健康や機能を保つことの大切さ（お口の問題が全身の健康にも影響する等）や歯科治療・口腔のケアの効果（P3参照）を説明し、歯科訪問診療を受けることの同意を得たうえで、歯科医師に紹介しましょう。

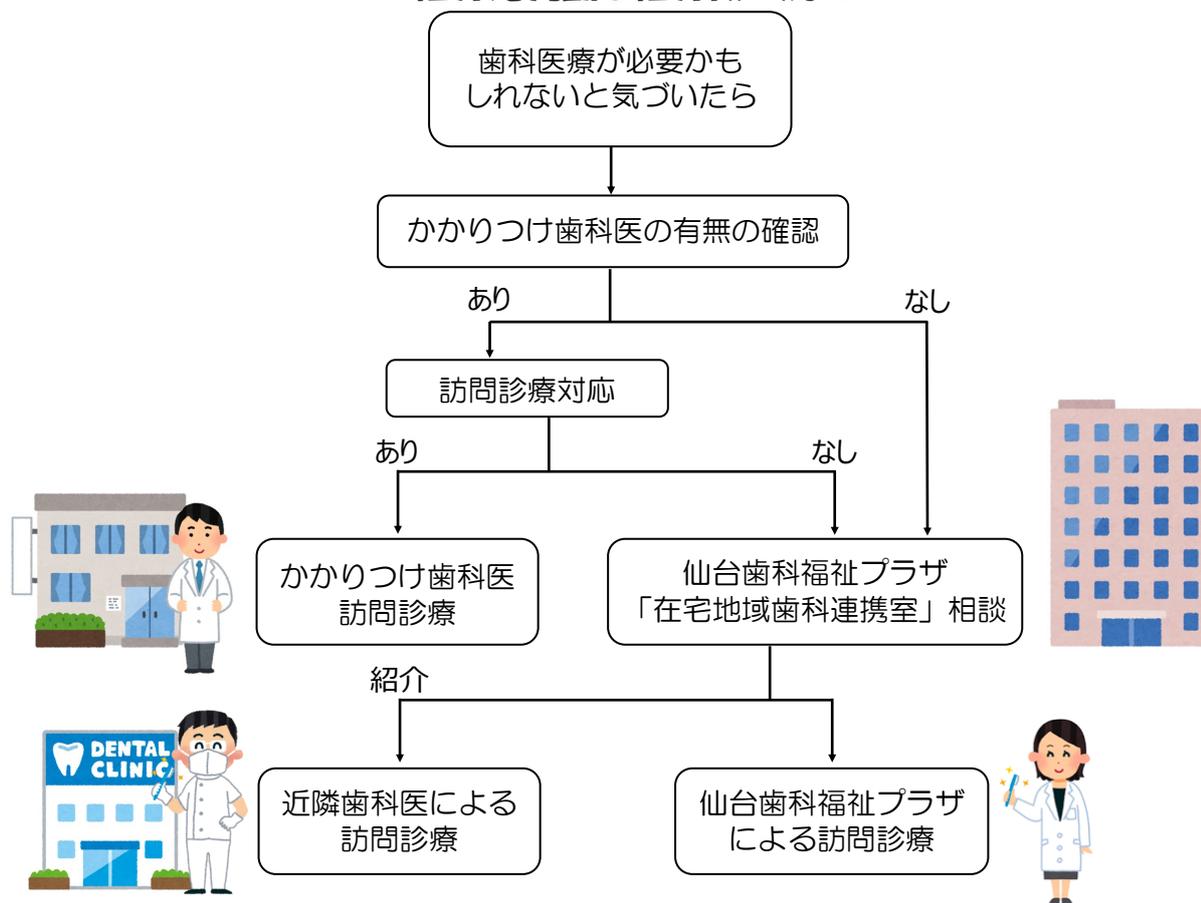
「かかりつけ歯科医」がいる場合は、訪問診療が可能かどうかをご確認ください。

「かかりつけ歯科医」がいなかったり、訪問診療を行っていない場合は、仙台歯科医師会が運営する**仙台歯科福祉プラザ「在宅地域歯科連携室」**に相談できます。詳しくは、下記の「紹介先判断と紹介後の流れ」をご参照ください。

なお、歯科医師にご紹介いただく際、医療（既往歴やかかりつけ医など）や介護（要介護度など）の状況をお尋ねすることがあります。

紹介すべき状態か判断に迷った場合は、「かかりつけ歯科医」または、**仙台歯科福祉プラザ「在宅地域歯科連携室」**にご相談ください。

－ 紹介先判断と紹介後の流れ －



仙台歯科福祉プラザ「在宅地域歯科連携室」

電話：022-261-7345 FAX：022-216-5133

相談時間： 平日 9:00～12:00、13:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

ご依頼の際は、FAXも利用できます。

6. 歯科訪問診療についての疑問

(1) 診療内容

① 歯科訪問診療は、どんなことをするのか？

患者さんのQOLを第一に考えた医療を行います。

むし歯・歯周病・入れ歯・口腔のケアなど、口腔に関わる問題全般に対応します。

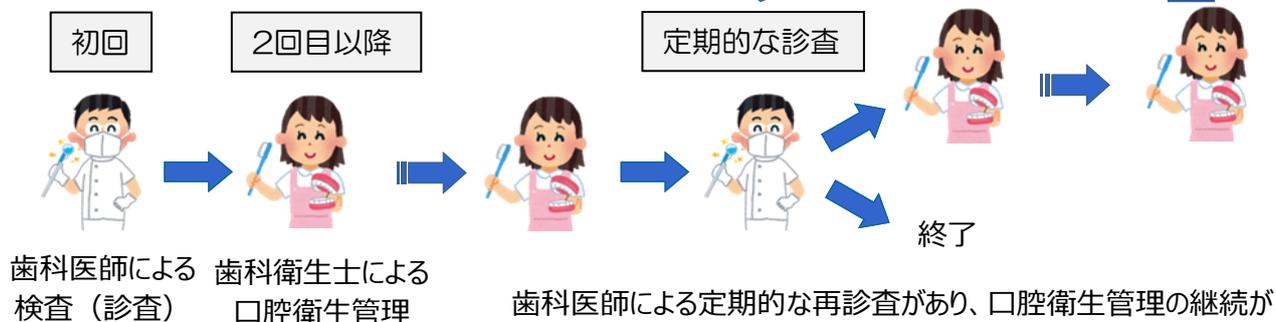
患者さんの状況や所有する医療機器などにより、一部診療内容が制約される場合がありますが、まずは歯科医師にご相談ください。



② 口腔のケアだけの依頼もできるのか？

口腔のケアだけの依頼もできます。

～診療の流れ（例）～



歯科医師による定期的な再診査があり、口腔衛生管理の継続が必要か判断されます。再診査時に、本人や介護者による口腔のケアが十分に行われ、口腔の状態が良好であれば、一旦、終了となることもあります。

③ 歯科訪問診療の回数は？

診療の回数（日数）は、症状や治療内容によって異なりますので、歯科医師にご相談ください。

④ 寝たきりでも治療はできるのか？

寝たきりの方でも治療可能です。患者さんにとって楽な姿勢で治療を行います。



【参考】

・入れ歯の作製と調整

入れ歯を作るには、歯型を取り、かみ合わせを調整するなど複数の工程があり、完成するまで概ね4～5回程度の診療が必要です。また、完成後にも数回調整を行います。

長く入れ歯を使用すると、歯ぐきの形が変わることなどにより、入れ歯が合わなくなります。また、入院などで入れ歯を使用しない期間が長引くと、歯の位置や歯ぐきの形が変わり、入れ歯が入らなくなることもあります。調整も、1回で済む簡単なものから、入れ歯の部品を新しく作って取り付ける複雑なものまで、さまざまです。



・口腔のケア

本人や介護者に口腔のケアの技術を指導したり、専門的な道具や方法で口腔衛生管理を行うため、口の状態や本人の要介護度、介護の状況などによって訪問回数は変わります。

本人や介護者による口腔のケアが難しい場合は、継続的な訪問による口腔衛生管理も可能です。

また、手術前後（周術期）の口腔のケアが、誤嚥性肺炎の予防、感染症や合併症のリスク低下、入院日数の短縮など、手術後の回復に好影響を与えることが明らかになっています。入院、手術が必要になった場合に慌てないように、普段から口腔のケアを行い、口の中を清潔に保っておくことが重要です。



・根面う蝕

歯の根っこ（歯根）にできるむし歯のことです。加齢や歯周病によって歯ぐきが下がると、歯根が露出します。歯根は歯の表面のエナメル質よりもやわらかく、むし歯になりやすいので注意が必要です。根面う蝕が進むと食事の際などに歯が根元から折れて、誤って飲み込んでしまう危険もあります。

根面う蝕を予防するためには、歯みがきの際に歯根の汚れをみがき残さないようにすること、フッ化物配合歯磨剤を使用することなどが大切です。

（2）歯科医院への問い合わせ

① 歯科医院にいつ電話すればいいの？ 診療中の電話は気が引けるのですが…

訪問診療を行う歯科医師の多くは、多職種の方々と顔の見える関係を築きたいと願っています。歯科医師が診療中などで対応できないこともありますが、その場合は歯科医院の受付に対応できる時間を尋ね、かけ直すとよいでしょう。

② 問い合わせたら「病気があるので診られない」「レントゲンが撮れないので診られない」と断られました

各歯科医院の所有している医療機器によって、治療できる範囲が変わります。かかりつけ歯科医での対応が難しい場合は、仙台歯科福祉プラザ「在宅地域歯科連携室」（P7）にご相談ください。病気があっても治療可能な歯科医院、レントゲン撮影が可能な歯科医院を紹介いたします。

(3) 料金

① 料金の目安が知りたいのですが？

通院治療の場合と比べて、1回につき1,100～2,000円程度（1割負担の場合）高くなるのが一般的です。

担当歯科医師が診察後、立案した治療計画に沿って治療を行います。治療内容によって料金は異なりますが、基本的に**医療保険**や**介護保険**の適用となります。適用となる保険は介護認定の有無や治療内容等によって変わりますので、担当歯科医師にご確認ください。



※別途、交通費がかかる場合もありますので、担当歯科医師にご確認ください。

参考までに、以下に費用の目安を示します。**歯科医院の施設基準の届出状況や患者さんの状態等により治療費は異なりますので、詳細は、担当歯科医師にご確認ください。**

歯科訪問診療には3つの料金が発生します（医療保険、介護保険ともに1割負担の場合の費用目安）

| | | | | |
|---------------------|---|---------------|---|---------------------|
| 診察料 (医療保険) | + | 治療費 (医療保険) | + | 指導管理料 |
| 1,100～2,000円 /1回 | | | | 要介護認定を受けていない方（医療保険） |
| | | | | ～850円/1回 |
| | | | | 要介護認定を受けている方（介護保険） |
| | | | | ～880円/1回 |

同日に、治療に加え歯科医師または歯科衛生士による指導があった場合は、上記指導管理料がかかります。医療保険の料金は、訪問診療を行う歯科医院の施設基準の届出等により異なります。

何らかの治療がある場合の治療費は「医療保険」の適用となります

| 治療内容（医療保険） | | 費用目安（1割負担） |
|------------------------|----------|---------------|
| 歯周治療（検査、歯石除去等） | 1回 | 200円～1,000円 |
| むし歯治療（詰め物、根の治療等） | 1本 | 300円～1,500円 |
| 被せ物 | 1本 | 1,000円～3,500円 |
| 抜歯 | 1本 | 300円～1,200円 |
| 総入れ歯（型取りから完成までの合計金額） | 上下いずれか片方 | 4,000円～5,000円 |
| 部分入れ歯（型取りから完成までの合計金額） | 上下いずれか片方 | 2,000円～4,500円 |
| 入れ歯の調整 | 1回 | 100円～230円 |
| 入れ歯の修理（修理が終了するまでの合計金額） | 上下いずれか片方 | 500円～3,000円 |

<2回目以降 指導・口腔のケアのみの場合>

要介護認定を受けている方は「介護保険」、受けていない方は「医療保険」の適用となります。

| | |
|-----------------|----------------|
| 歯科医師の指導・口腔のケア | 歯科衛生士の指導・口腔のケア |
| 200～520円+診察料/1回 | 約360円/1回 |

※歯科医師が行う場合は診察料が別途かかります。



(4) 本人や家族が歯科訪問診療を希望しない

① 経済的な理由で断られます

この断りの理由が、本当は治療したいが経済的な理由でできないのか、または他の理由があるのかなど、よく話を聞いてみましょう。基本的な料金（P10の（3））について説明した上で、全身の健康回復の鍵の一つが歯科治療による食べる機能の改善や口腔のケアであることを伝えてみてください。

また、適切な治療や口腔のケアを受けることで食事がとりやすくなり、食べられるものの種類が増え、少しずつ体力がついてくることによって介護サービスの量を減らせることもあります。定期的な歯科受診により口の健康を保つことで、認知症や脳血管疾患、誤嚥性肺炎などの身体疾患のリスクが下がり、結果として医療費の節約につながる場合があることが、研究でも報告されています。

② 歯の痛みがないと歯科にかかろうとしてくれません

高齢者には「歯医者へは歯が痛くなったら行くもの」と考えている方が多く見られます。パンフレット「**口の健康チェックをしてみよう！**」を活用し、口のお掃除やマッサージなどのケアをするだけでも唾液が出て口の渇きが和らぐこと、食事が食べやすくなり好きなもののおいしく食べられること（幸福感）、誤嚥性肺炎を起こしにくくなることなどを説明してみましょう（口腔のケアにより、口の汚れが減ったり口の機能が改善すると、誤嚥性肺炎の危険性が低くなります）。

また、歯の病気はほとんどの場合、痛みが無いまま進行し、要介護者が歯科受診をする頃には重症化しており、抜歯となる事例が多くみられます。特に身体疾患がある場合の抜歯は体への負担が大きく、血栓等ができるリスクを伴います。痛みがないうちから定期的な歯科受診をお勧めしましょう。

(5) 認知症

① 認知症でも診てもらえるの？

認知症の方でも対応可能な歯科医院もあります。まずはかかりつけ歯科医にお問い合わせください。かかりつけ歯科医が対応できない場合は、仙台市歯科医師認知症対応力向上研修を受講した歯科医師リストが仙台市ホームページ（右のQRコード参照）にありますので、参考にして訪問診療が可能かお問い合わせください。



歯科医師認知症
対応力向上研修

② 口を触らせてくれない人がいます。どうしたらいいですか？

認知症が進行すると、口の中に不快感があってもそれをうまく伝えることが難しくなります。もしかしたら痛みがあるのかもしれません。歯科治療や口腔のケアを行うことで、認知症の症状の進行を抑えたり、介護拒否の軽減、気持ちが穏やかになるなどの効果がみられることもあります。

また、認知症の方は症状が進むにつれて自分で上手く歯みがきができなくなり、気づかないうちにむし歯や歯周病も進行しがちです。認知症の方には、早めに歯科受診・定期管理を促しましょう。



③ 入れ歯を作っても使えないかもしれないので作らなくてもいいですか？

入れ歯を入れることで噛む機能や飲み込む機能が改善し、食事の準備や食事時間の短縮による介護負担の軽減、認知症症状の進行抑制など、多くの効果が期待できます。認知症の方が入れ歯を上手に使えるかどうかは判断が難しいところがありますが、まずは、歯科医師にご相談ください。また、入れ歯がないと残っている歯で口唇や頬・歯肉などを傷つけてしまい、知らないうちにできた口内炎により、食欲がなくなることもあります。認知症の方は、自分で痛みや不具合を訴えることが難しくなるため、歯科医師による定期的な口の管理（口の汚れやむし歯、歯周病、口腔粘膜の病気、入れ歯の不具合、口の機能のチェックなど）が必要です。



(6) その他

① 摂食・嚥下障害にも対応してくれるの？

摂食・嚥下に関する問題解決には、医師・歯科医師・言語聴覚士・栄養士・看護師など、多職種が連携して対応することが大切です。必要があれば他の診療科等も紹介してもらえますので、まずはかかりつけ歯科医または仙台歯科福祉プラザ（P7）にご相談ください。

なお、口腔のケアは口腔周囲筋を刺激し、摂食・嚥下機能の改善の一助となります。



② 身体的ケアのサービス量が多いので、口腔のケアは介護保険利用限度額に入りきらないのですが…

歯科医師による居宅療養管理指導は、介護保険利用限度額には含まれません。「口のケアが必要かも」と気づいたときに、利用限度額を考慮せずに歯科医院へご紹介ください。

※紹介する際は、必ず患者さんの同意を得てください。

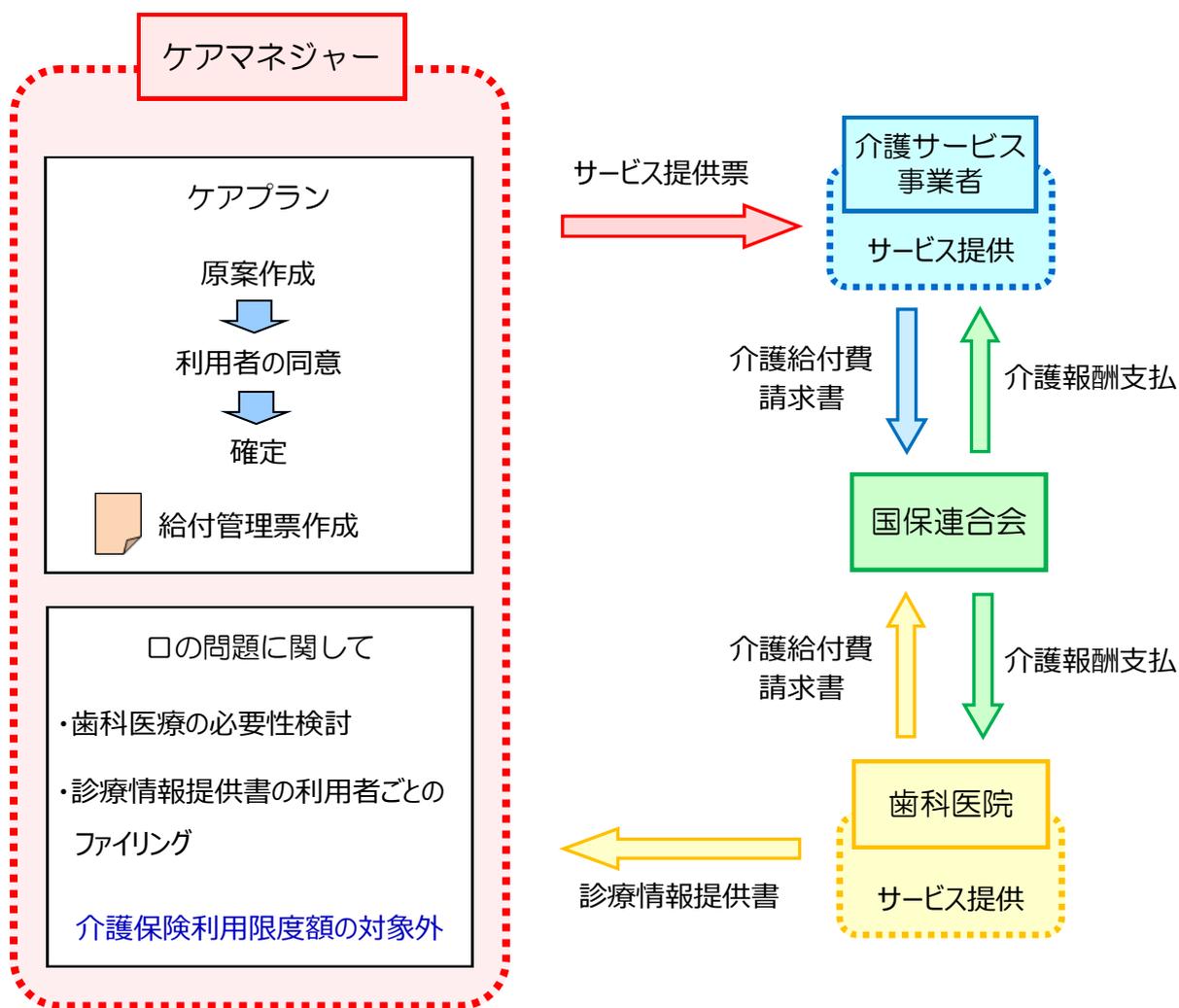
※治療内容等によっては医療保険の適用となることもありますので、担当歯科医師にご相談ください。

③ ケアプラン作成時にサービス提供票を歯科医院に提供しないといけないの？

歯科医院は居宅サービス事業者として認められており、居宅療養管理指導に関して、**サービス提供票の提出や給付管理票の作成は必要ありません。**

居宅療養管理指導を行った場合、歯科訪問診療後に、歯科医師からケアマネジャー宛に診療情報提供書が提出されますので、利用者の口腔の状況を把握したり、多職種との連携等にご利用ください。

一 歯科医師の居宅療養管理指導(介護保険)の位置づけ 一



まずは、かかりつけ歯科医または仙台歯科福祉プラザ「在宅地域歯科連携室」(P7)にご相談ください。



介護を必要とする方のための歯科診療の手引き

仙台市健康福祉局保健衛生部医療政策課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

電話 022-214-8196 ファクス 022-214-4446

令和6年6月